

3年次2学期～4年次1学期

臨床医学コース

| 専門基礎科目 | 臨床科目 | 基本臨床実習科目 |

医療現場への第一歩、
臨床医学の基本を学びます



3年次 統合・血液学
「血液学総論」

コースの特色

ここでは、さまざまな疾病について勉強します。
 疾病を多面的に把握し、内科学、外科学、専門医学などの臨床医学の基本を学びます。
 患者さんを感情のある人間として理解したうえで、その病態、病状、検査所見、診断、治療の基本を身につけます。これは次のコースで、実際の患者さんに接する「臨床実習」においてとても大事なステップになります。
 臨床医学コースでは、医学研究の入門となる医学研究演習を1カ月

行います。ここでは、学生が研究室に配属され、実験の方法や考え方を学ぶことで、将来の基礎医学研究者や研究医となるための素養を磨きます。

このコースの最後には、コンピューターによる知識や理解度を測るCBT、さらに医療面接(病歴聴取)や診察などの技能を測る実技試験(OSCE)の二つの全国共通の共用試験があり、これに合格して臨床実習に進むことになります。

EVENT



統合・膠原病・アレルギー学の講義(3年次開講)

日々の勉強の成果を発揮「医学展」

毎年、北大祭の期間中に行われる医学展では、4年生などが企画部門長となって救急対応などの指導や「妊婦さん体験・車いす体験」などを一般市民向けに行っています。



医学科生からのメッセージ

実習への橋渡し

依田 恵さん [5年生]
群馬県立高崎女子高等学校(群馬県)卒業

3年2学期から4年1学期では、「臨床医学コース」で学びます。「基礎医学コース」で学んだ事柄が、医師として働く先生により、1つのストーリーとして整理されます。これが、次の「臨床実習コース」での学びの土台となります。「臨床医学コース」では、病態や診断、治療、臨床現場での実践などの観点で病気について学びます。私は、「基礎医学コース」時に耳にしたことがある病気でも、異なった切り口で触れているように感じました。

例えば、ある疾患について、「基礎医学コース」の生理学では器官の働き方を、薬理学では薬の作用機序を、病理学ではその病気の病理像を勉強しましたが、「臨床医学コース」では、病態、診断、治療などにそれらが融合されています。また時には、北海道で特徴的な疫学など、地域の特徴が顕著な内容も織り交せて下さり、より現場に即した内容も学べます。

また、4年生の夏休みにはCBT・OSCEという試験があります。CBTは、これまで学んだ基礎的な知識や、それらを使う症例問題が出題されます。OSCEは、採血や身体診察、問診などの実技試験です。事前に臨床現場で診察を行っている先生方から指導いただけます。

基礎学習を終えると、いよいよ病院での実習が始まります。

